

今回は、「COVID-19」「韓国の反日運動」「香港の民主化デモ」の日本酒輸出などへの影響分析です。

■ COVID-19の輸出へのインパクト考：2019→2020年の状況

日本酒輸出トップ3か国 (2020年輸出量の上位3か国)

	2019 → 2020		2019 → 2020
量 (万石)	金額 (億円)	量 (万石)	金額 (億円)
アメリカ	3.58→2.93 ▲18%減	67.6→50.7 ▲25%減	
中国	2.86→2.65 ▲7%減	50.0→57.9 ▲16%増	
香港	1.07→1.46 +36%増	39.4→61.8 +57%増	

ウイスキー輸出トップ3か国 (2020年輸出量の上位3か国)

	2019 → 2020		2019 → 2020
量 (千L)	金額 (億円)	量 (千L)	金額 (億円)
アメリカ	1.96→2.44 +24%増	54.0→63.5 +18%増	
フランス	1.52→1.53 +1%微増	27.5→27.7 +1%微増	
中国	0.80→1.36 +70%大幅増	25.3→79.4 +214%大幅増	

●参考：2021年8月時点の回復状況（8月＝本資料作成時点の最新公表データ）

	2020.8月まで → 2021.8月まで		2020.8月まで → 2021.8月まで
量 (万石)	金額 (億円)	量 (万石)	金額 (億円)
アメリカ	1.67→3.02 +81%大幅増	29.2→56.3 +93%大幅増	
中国	1.29→2.57 +99%大幅増	25.7→62.4 +143%大幅増	
香港	0.89→1.13 +27%増	33.1→55.5 +68%増	

	2020.8月まで → 2021.8月まで		2020.8月まで → 2021.8月まで
量 (千L)	金額 (億円)	量 (千L)	金額 (億円)
アメリカ	1.88→2.22 +18%増	53.9→90.8 +68%大幅増	
フランス	0.93→1.90 +104%大幅増	17.7→32.0 +81%大幅増	
中国	0.77→1.34 +74%大幅増	39.6→122.3 +209%大幅増	

Impact of covid-19 / 3pages / 211002 / 2neo

■ 韓国の反日運動の 日本酒輸出への影響

		2017 → 2018 → 2019 → 2020			
		量 (万石)		金額 (億円)	
韓国		2.67 → 2.97 → 1.62 → 0.85	18.6 → 22.1 → 13.6 → 9.8		
前年比		+12%増 → ▲46%激減 → ▲47%激減		+19%増 → ▲39%激減 → ▲28%減	
日本から見た輸出先ランキング		2位 → 3位 → 5位		4位 → 4位 → 6位	

●参考：2021年8月時点の状況（8月＝本資料作成時点の最新公表データ）

	2020.8月まで → 2021.8月まで		2020.8月まで → 2021.8月まで
量 (万石)	金額 (億円)	量 (万石)	金額 (億円)
韓国	0.44 → 0.88 +100%大幅増	5.0 → 9.6 +92%大幅増	
前年比			

■ 香港の民主化デモの 日本酒とワインへの影響

	2018 → 2019 → 2020		note
世界からの ワイン輸入	120億HK\$ → 88億HK\$ → 75億HK\$ ▲26%減 → ▲15%減		香港の輸入額 香港統計局
日本からの 清酒輸入	38億円 → 39億円 → 61億円 +7%増 → +57%増		日本の輸出額 財務省貿易統計

Impact of covid-19 / 3pages / 211002 / 2neo

■（おまけ）COVID-19と100年前のスペイン風邪のインパクト比較

	時期	死者	人口	清酒の国内出荷量	対前年比
COVID-19 	2020年から パンデミック → 2021年現在 進行中	日本：1万7,600人 人口の0.014% (2021年9月末現在)	1億2,600万人 (2020年)	2019年：258万石 感染1年目・2020年：231万石 感染2年目・2021年：2??万石 感染3年目・2022年：2??万石	▲6%減 ▲11%減 ▲??%減 ??%
		世界：478万人 人口の0.061% (2021年9月末現在)	77億9,500万人 (2020年)		
Spanish-Flu スペイン 風邪	1918年から パンデミック → 1920年に ほぼ終息	日本：39万人 人口の0.7%	5,600万人 (1920年)	1917年：508万石 感染1年目・1918年：493万石 感染2年目・1919年：588万石 感染3年目・1920年：426万石	▲3%減 ▲3%減 +19%増 ▲28%減
		世界：1700万人 ～1億人 (推計に幅) 人口の0.9～5%	19億人程度 (1920年)		

Impact of covid-19 / 3pages / 211002 / 2neo

■＜日本酒と米・中・香港＞ コロナのパンデミックが始まった2020年、日本酒の輸出先トップ3か国の状況は、くっきり3つにわかれしました。アメリカ：量・金額とも減、中国：量減・金額増、香港：量・金額とも増。アメリカは、日本酒の販売における日本食レストラン依存度が非常に高いので、コロナで販売量が減少しました。中国も、レストラン需要は多いのですが、EC化が一気に進んだ結果、高額の日本酒が売れるようになったようです。香港はコロナ感染がひどくなかった影響もありますが、一定の日本酒の家飲み需要がある事が、量・金額ともに堅調だった要因でしょう。

■＜日本酒とウイスキー＞ 清酒と違って、2020年のウイスキーの輸出先トップ3か国はすべて、量・金額ともに前年対比で増加を維持しました。特に中国は大幅増。アメリカでは、コロナ下でビールやワインの需要が減った中、唯一消費量が伸びたのがウイスキーだそうです。家飲み需要に適している面があるのでしょう。

■＜2021年8月までの状況＞ 本稿を書いている時点で最新公表データの8月までを前年同期比でみると、幸いなことに、日本酒・ウイスキーとも、量・金額とも、主要3か国とも、大幅な伸び。中でも、中国の伸びは突出しています。

■＜韓国の反日運動の影響＞ 2019年8月に始まった反日運動の影響で、日本酒の輸出は2019年・2020年と量で半減を繰り返して、1/4近くになりました。一方、金額の減少幅は、量よりは少なく、結果的に平均輸出単価が改善されました。韓国以外でも、また反日でなくても、例えば今、中国で、H&Mやナイキの不買運動（新疆ウイグルの人権問題関連）がおきているように、突然の予期せぬ不買運動のリスクはあります。

■＜2021年8月までの状況＞ 韓国の反日運動は根本的には解消されてはいませんが、幸いなことに8月時点では前年同期比で大きく改善しています。

■＜香港の民主化デモの影響＞ 2019年に始まった民主化デモの状況をテレビでみて、外食需要は大きく減ると危惧しましたが、幸い日本酒の輸出は増え続けました。しかし、実は香港が最も力を入れているワイン輸入（2008年から酒税がゼロ、ワイン流通の世界的ハブとなっている）は大きく減少しています。「多くが再輸出されるワイン」に比べて、「域内実需に近い日本酒」の需要は落ちていない、という証でしょう。

■＜スペイン風邪との比較＞ 日本では人口が今の半分以下だったのに死者数は20倍以上。世界では数千万人の死者があったにもかかわらず、スペイン風邪は実は、日本経済にも世界経済にも、それほど打撃を与えなかったそうです。第一次大戦よりも関東大震災よりも死者が多いのに、歴史の教科書にも載っていません。実際に社会に影響したのは、戦争直後の好景気と、その後の戦後恐慌。同じパンデミックで今と状況がこれだけ違うのは、情報伝播の違いだと思います。今のように日本中・世界中の情報が瞬時にわかるわけではないので、人々は気をつけながらも変わらない生活をしたのでしょう。

■＜清酒への影響＞ 一般的には、1919年の清酒の石数588万石（大正時代を通じての最高石数、今の2.5倍！）は「大正バブル」の影響、1920年の▲28%減の426万石は、（スペイン風邪で39万人が死亡した影響が全くないはずはないと思いますが）「戦後恐慌」の産物だととらえられています。この年、多くの銀行や会社が倒産しました。

(text = t.kita)